



服薬指導と薬代の負担軽減の2つの効果 全国健康保険協会奈良支部・生駒地区薬剤師会と協働で 残薬バッグを利用した残薬調整運動実施

昨年度、生駒地区薬剤師会が実施した「残薬調整運動」。今年度は、生駒市、全国健康保険協会（協会けんぽ）奈良支部と生駒地区薬剤師会が協働で、8月20日から市内の薬局26薬局で残薬バッグを利用した残薬調整運動を実施します。

残薬調整運動は、患者さんが持参した残薬をもとに、薬剤師が服薬指導や相談、薬の飲み合わせのチェックなどを行う運動です。高齢化が進み、多くの調剤を処方される患者が増える中で「薬の管理ができない」「飲み忘れてしまう」「何に効く薬かわからない」などの様々な不安や疑問に薬剤師が対応します。これにより薬に関する不安をなくし、正しく服用いただくことで健康管理につなげるとともに、薬代の負担軽減にもつながります。

また、残薬調整運動中は、協力薬局で「残薬バッグ」を無料配布します。残薬バッグを持つことで薬剤師に気軽に相談できるようになり、残薬を持参する人の増加をねらいます。昨年度の利用者からは「薬剤師が身近に感じるようになった」「薬のことだけでなく健康の相談もしやすくなった」などの声があがりました。



残薬バッグ

■ 残薬バッグの2つの効果

- ① 服薬指導 普段使っている「服用薬」（薬・サプリメント・健康食品など）やお薬手帳などを薬局へ持っていくと薬剤師が残った薬を有効活用できるようアドバイスします。特に高齢者は、複数の薬局で多くの種類の薬をもらって服薬していることがあり、場合によっては飲み合わせてはいけない薬などを混ぜて飲んでしまうことがあります。薬剤師が残薬バッグに残っている薬をチェックすることで、このような危険を未然に防ぎます。
- ② 薬代の負担軽減 薬剤師が飲み残った薬をチェックし、医師と相談することで薬の処方を減らし、薬代の負担の軽減につなげます。

■ 残薬バッグを無料で配布！

協力薬局では、薬の相談をされた人に残薬バッグを配布します。なお、薬相談はご家庭にあるエコバッグなどに入れて持ってきていただいてもかまいません。

■ 協力薬局26店舗（順不同）

アイビー薬局、アリス薬局、アール薬局生駒駅本店、えふ西薬局、笑夢薬局、おひさま薬局、かるがも薬局東生駒店、北大和調剤薬局、幸生堂薬局、コスモス薬局、サエラ薬局、サン薬局生駒店、サン薬局生駒駅前店、白菊調剤薬局、スギ薬局生駒店、スギ薬局真弓店、たんぼぼ薬局あすか野店、たんぼぼ薬局小明店、ドレミ薬局、メイプルリーフ薬局生駒店、メルズ薬局、薬師堂生駒薬局、ヤスイ薬局あすか野、ヤスイ薬局生駒、ヤスイ薬局辻、若葉薬局

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市国保医療課（課長 奥谷、課長補佐 堤） ☎0743-74-1111（内線 781）
全国健康保険協会奈良支部企画総務グループ（徳永） ☎0742-30-3702